

受験番号			

2024年度 神戸山手女子中学校中期午前 適性検査型入学試験

# 数理探究

(1 ページ～10 ページ)

10:00～10:40 (40分)

## 注意

- 1 検査開始の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2 声を出して読むはいけません。
- 3 解答用紙は1枚です。
- 4 検査の開始後すぐに、問題冊子のページがそろっているか、解答用紙が入っているか、確認しなさい。
- 5 受験番号を解答用紙の決められた場所に記入しなさい。
- 6 答えはすべて解答用紙に丁寧に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 7 文字数を数えるときは、句読点や記号も1字として数えます。

神戸山手女子中学校

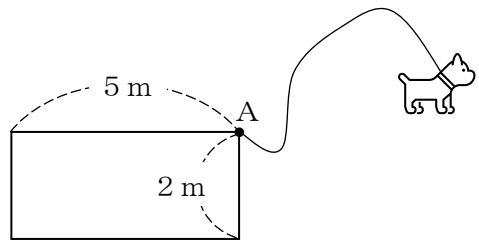
1 次の問題に答えなさい。答えのみ書きなさい。

問1 次の計算をしなさい。

①  $12 + \{140 - (7 \times 8 - 5 \times 4)\} \div 13 =$

②  $1.5 \div 0.75 + \frac{1}{5} \div (\frac{1}{2} - \text{}) = 3.2$

問2 右の図は、犬がたて2 m、横5 mの小屋の点Aに5 mのひもでつながれている様子を表しています。このとき、犬が自由に動ける範囲の面積は何 $\text{m}^2$ か求めなさい。ただし、円周率は3.14とします。



問3 現在、父とたかしさんの年れいの差は28才です。16年後には、父の年れいが、たかしさんの年れいの2倍になります。現在、父の年れいは何才ですか。

問4  $\frac{99}{101}$  の小数第50位の数字は何ですか。

問5 Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人が1対1で競う、あるゲームをしました。おたがいに1回は必ず対戦し、2回対戦した人もいます。Aさん、Bさん、Cさんのそれぞれの対戦の結果は以下ようになりました。

Aさん：1勝2敗

Bさん：3勝0敗

Cさん：0勝4敗

このとき、Dさんは何勝何敗ですか。

2 さやかさんとみゆきさんは、あみだくじについて話をしています。このときの会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

さやかさん あみだくじの進み方は知っているかしら。  
 みゆきさん 知っているわ。スタートする位置を1つ選んで、そこから下へ進んでいくの。横へとつながっている線があるときは、必ずそちらへ曲がって、また下へと進んでいくのよね。

さやかさん そう。図1のあみだくじIの4からスタートすると、矢印のように進むわ。

みゆきさん このあみだくじの形だと、スタートするときは左から1, 2, 3, 4, 5と並んでいた数字が、ゴールするときは4, 3, 5, 1, 2となって、どの数字もはじめの位置とはちがう場所になるのね。

さやかさん 横の線を増やすとどうなるのかしら…。  
 そうだ。あみだくじIを2個つなげるとどうなるのかな。

みゆきさん 図2のようになるわね。1と4は、はじめと同じ位置にもどったわ。5と2と3は、また別の場所に来たわ。

さやかさん おもしろいわね。これを続けていくとどうなるのかしら。

みゆきさん あっ、もしかして…。わかったわ。あみだくじIを図3のように10個つなげると、Aの場所には (ア) の数字が、Bの場所には (イ) の数字がそれぞれくるわ。

さやかさん 何か規則を見つけたのね。

みゆきさん もう少し同じあみだくじをつなげていくとわかるわよ。

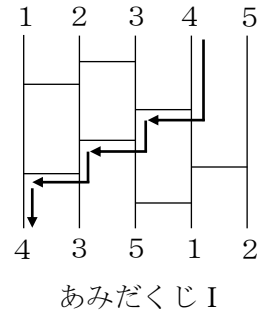


図1

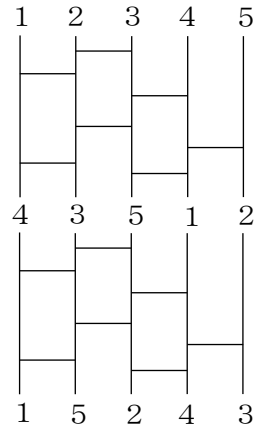
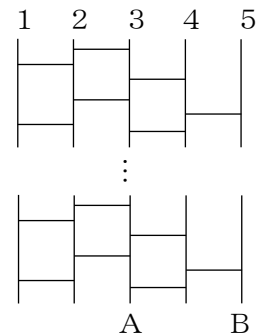


図2



10個つないだ  
あみだくじ

図3

問1 会話文中の (ア) , (イ) にあてはまる数を答えなさい。

**さやかさん** あみだくじ I とは形のちがうあみだくじの数字の移動を考えましょうか。

**みゆきさん** そうね。今度は1つずつ反対にしてつなげてみましょうか。あみだくじ I を反対にしたものをあみだくじ II として、I → II → I → II → … とつなげていくの。

**さやかさん** 図4 のようにつなげていくということね。これにも規則があるのかしら。

**みゆきさん** さっきと同じようにしていくとわかるわよ。

**さやかさん** ほんとだ。あみだくじ I とあみだくじ II をそれぞれ (ウ) 個ずつつなげると、数字が左から1, 2, 3, 4, 5の順にもどるわね。

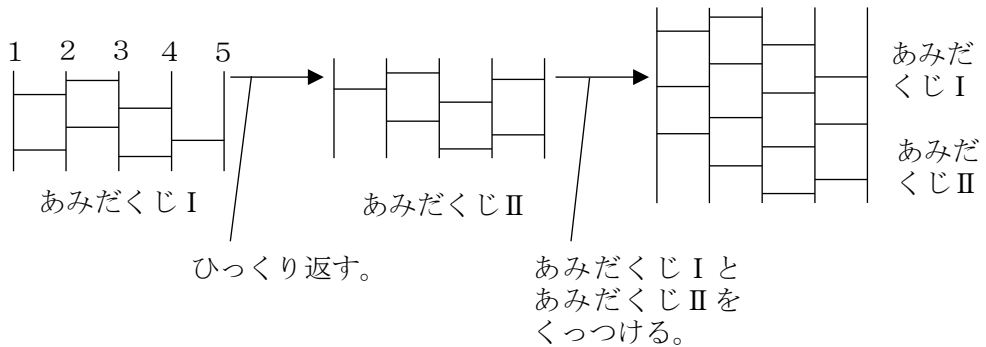


図4

問2 会話文中の (ウ) にあてはまる最も小さい数を答えなさい。

問3 図5のあみだくじを、たてに何個つなげると数字が左から1, 2, 3, 4, 5, 6, 7という並びに、初めてもどりますか。また、その求め方を、式やことば、表などを用いて説明しなさい。

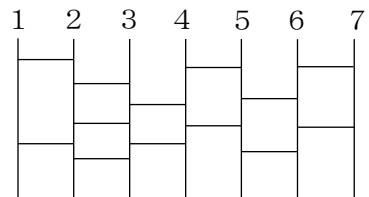


図5

3 ひろしさんとしんごさんとは、ある数字の並びについて先生と話をしています。

このときの会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひろしさん しんごさんは、フィボナッチ数列って知っているかな。

しんごさん 知っているよ。1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89...  
というような整数の並びのことだね。図1のように、となり合った整数をたすと、次の整数になるんだ。

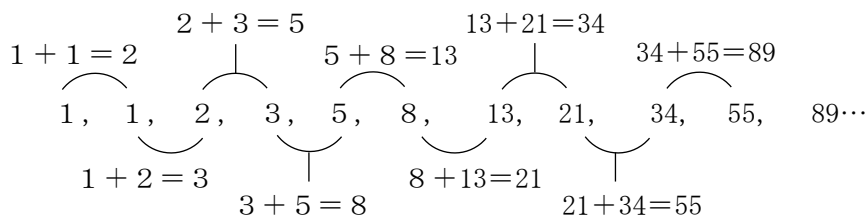


図1

ひろしさん さすがだね。じゃあ、17番目にくる整数はいくつになるかな。

しんごさん (ア) だよな。

先生 2人ともよく知っていましたね。では、このフィボナッチ数列には黄金比おうごんひがかくれているのです。

ひろしさん 黄金比とはどのようなものなのですか。

先生 黄金比とは、1 : 約1.618の比のことで、この比でつくられたものを人が見ると、きれいだと感じるといわれています。外国の有名な建物やピラミッドなども、この比になっているようですね。

しんごさん フィボナッチ数列のどこに黄金比がかくれているのですか。

先生 数列の中にある整数を、ひとつ前の整数で割ってみましょう。

ひろしさん  $1 \div 1 = 1$ ,  $2 \div 1 = 2$ ,  $3 \div 2 = 1.5$ 。先生、どこに黄金比があるのですか。

先生 もう少し続けてみましょう。下の図2のようになりますね。

$5 \div 3 = 1.666\dots$ , $8 \div 5 = 1.6$ , $13 \div 8 = 1.625$ , $21 \div 13 = 1.615\dots$ , $34 \div 21 = 1.619\dots$ , $55 \div 34 = 1.617\dots$ , $89 \div 55 = 1.618\dots$
---

図2

しんごさん 本当だ、1.618ができました。  
 先生 この先も同じことを続けると、約1.618が続きます。フィボナッチ数列と黄金比の関係を図で見てみましょうか。図3は、1辺が1cmのマス目に、フィボナッチ数列の5番目までの整数を1辺の長さとする正方形を、順にかきこんでいったものです。

ひろしさん 長方形ができていくのですね。できた長方形のたてと横の長さの関係は、いつもフィボナッチ数列のとなり合った整数になっています。

しんごさん ということは、正方形をどんどんかき加えていったときの、長方形の(イ)の比が黄金比になっているんですね。

先生 そうです。よく気がつきましたね。

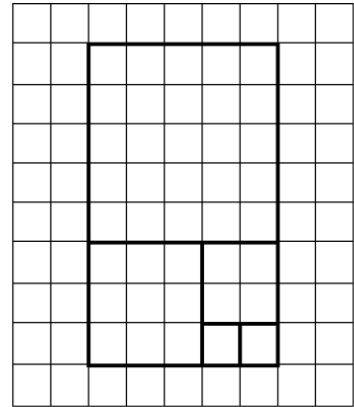


図3

問1 会話文中の(ア)にあてはまる数を答えなさい。

問2 会話文中の(イ)にあてはまることばを答えなさい。

しんごさん 黄金比以外に、このような決まった比というものはあるのですか。  
 先生 そうですね。白銀比はくぎんひとよばれる比がありますよ。1 : 約1.414の比です。日本の昔の建造物などによく見られるそうです。その他には紙の大きさなどに見られますよ。コピー用紙やノートなどの大きさがそうですね。

ひろしさん すごく身近なところにあるのですね。  
 先生 紙の大きさにはA4やA3、B4などがあります。A3の大きさの紙を例にすると、長い方の辺の長さは420mm、短い方の辺の長さは297mmです。長い方の辺の長さを短い方の辺の長さで割ると、 $420 \div 297 = 1.414\dots$ になります。

しんごさん A4やB4といった大きさの紙も同じ白銀比になるのですか。  
 先生 そうですよ。この紙の大きさにも面白い特ちょうがあります。図4のように、A3の大きさの紙を、長い方の辺で半分にしても、辺の長さの比が1 : 1.414になるのです。

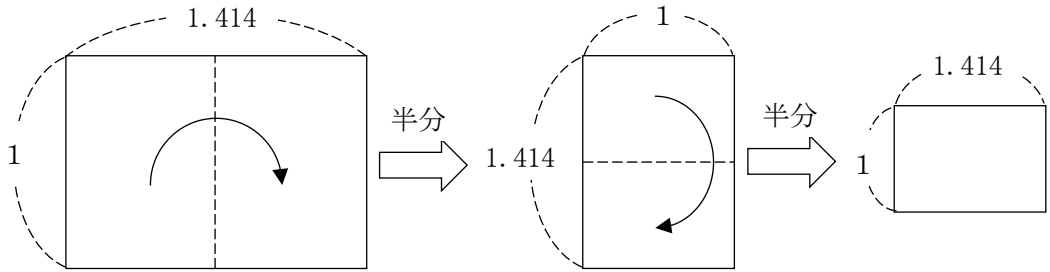


図 4

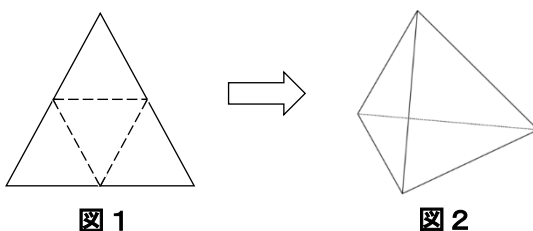
- しんごさん** 白銀比には、このような特ちょうがあるのですね。
- 先 生** そしてA 3の大きさの紙を半分にしたものが、A 4の紙の大きさです。さらにそれを半分にした紙の大きさがA 5の紙なのです。
- ひろしさん** 半分の大きさにするごとに、数字が1つ大きくなるのですね。そうするとA 1が一番大きな紙ですか。
- 先 生** Aがつく紙の大きさで一番大きなものはA 0ですね。その半分の大きさがA 1です。Bがつく紙の大きさも同じですね。
- しんごさん** 紙やノートの大きさにそのような特ちょうがあったなんて、面白いですね。

問3 B 0の紙の長い方の辺の長さは1456mm, 短い方の辺の長さは1030mmです。このとき、B 7の紙の短い辺の長さは何mmになりますか。必要があれば、小数第1位を四捨五入し、整数で答えなさい。

**4** ひろこさんとたろうさんは、正三角形や正方形などの正多角形のみでできる立体について話をしています。このときの会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

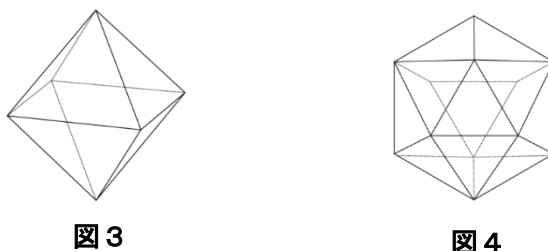
**ひろこさん** 立方体はすべて同じ形の面でできているのね。

**たろうさん** そうだね。立方体の面は、すべて正方形からできているね。他にも面が正三角形だけでできている立体もあるんだ。**図1**のように、正三角形を4つ合わせて点線の部分で折り曲げると**図2**のような立体になるよ。これを正四面体というんだ。



**ひろこさん** 正四面体は、辺の本数が6本で、頂点の個数が4個で、面の数が4面ね。

**たろうさん** 正三角形だけでできる立体は正四面体だけではないんだ。**図3**のような正八面体と、**図4**のような正二十面体もあるんだ。



**ひろこさん** 立体の名前を見ると、面の数はわかるわ。正八面体の面の数は8面で、正二十面体の面の数は20面ね。正八面体ぐらいまでなら、辺の本数と頂点の個数は数えることができるけど、正二十面体になると辺の本数も頂点の個数も数えることが難しいわ。

**たろうさん** よく考えると、辺の本数も頂点の個数も計算して出すことができるんだよ。正四面体で考えてみよう。正四面体は正三角形が4つ集まった立体だね。立体になる前の辺の本数は何本になるだろう。



**ひろこさん** 正三角形の辺の本数が3本で、正三角形が4つあるから $3 \times 4$ で12本ね。

**たろうさん** そう。それが立体になるときに、何本の辺が合わさって立体の1本の辺になっているかな。

**ひろこさん** 2本の辺がくっついて正四面体の1本の辺になっているわ。2本の辺が1本に変わるから、立体になったときに、ちょうど半分になるのね。この仕組みを使うと正二十面体の辺の本数もわかるわ。

問1 正二十面体の辺の本数を求めなさい。

**ひろこさん** 頂点の個数も計算で求めることができるのよね。どのようにして計算するの。

**たろうさん** 考え方は同じだよ。今度は立方体で考えてみようか。立方体は正方形が6つ合わさった立体だろ。正方形の頂点は4個だよ。それが立体になるときに、いくつの頂点が合わさって立体の1つの頂点になっているかな。それを考えれば、頂点の個数も計算で答えができるよ。

**ひろこさん** わかった。本当に考え方は辺の本数のときと同じなのね。

問2 正二十面体の頂点の数を求めなさい。また、その求め方を、式やことばなどを用いて説明しなさい。

**たろうさん** すべての面が1種類の正多角形だけでできていて、すべての頂点において、集まっている面の数が同じ立体のことを、まとめて「正多面体」というんだ。この正多面体は合計で5つしかないんだよ。

**ひろこさん** 正四面体と立方体と正八面体、それに正二十面体ね。もう1つあるということね。どのような立体なの。

**たろうさん** 図5のような立体で、正十二面体というんだ。

**ひろこさん** 面の形は正五角形なのね。正十二面体だから面の数は12面なのね。

**たろうさん** もう辺の本数も、頂点の個数もわかるよね。

**ひろこさん** もちろん。辺の本数は30本で、頂点の個数は20個ね。でも不思議

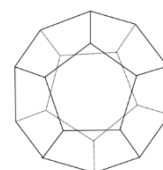


図5

議なことがあるの。正六角形や正七角形の正多面体はどうしてないの。

**たろうさん** それは2つのことから説明ができるよ。正六角形の正多面体はどうしてできないかを考えてみよう。まず、1つ目だけでも、立体をつくるときに、1つの頂点に集まる面の数は何面以上必要かわかるかい。

**ひろこさん** 2面だったらパタンと折りたためてしまって立体にならないわね。3面以上かしら。

**たろうさん** その通り。では正六角形が1つの頂点に3面集まったときのことを考えてみよう。

問3 正六角形の正多面体ができない理由の2つ目を、正六角形が1つの頂点に3面集まったときのことを利用して、式やことば、表などを用いて説明しなさい。

**たろうさん** 正多面体ではないのだけれども、2種類の正多角形を組み合わせた立体もあるんだよ。図6を見て。

**ひろこさん** サッカーボールね。

**たろうさん** 正五角形と正六角形が組み合わさってできているのがわかるかな。



図6

**ひろこさん** 本当だ。こんな形をしていたのね。

**たろうさん** この形は正二十面体からつくることができるよ。サッカーボールみたいにきれいな球とはいかないけれどね。

**ひろこさん** 正二十面体をどのようにするとサッカーボールのような形になるの。

**たろうさん** 正二十面体の頂点を切り取っていくんだ。正二十面体の正三角形の辺の長さをそれぞれ3等分して、それを線で結ぶ。そうすると正五角形ができるから、その正五角形の部分を切り取るんだ。

図7は、正二十面体の3つの頂点を切り取ったようすを表しているよ。

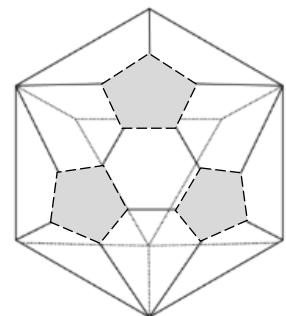


図7

- ひろこさん** 頂点を切り取ったあとの，正五角形で囲まれた部分が正六角形になるのね。
- たろうさん** 正二十面体の頂点を，同じようにすべて切り取るとサッカーボールのような形の立体ができるんだよ。
- ひろこさん** その立体の辺の本数は何本になるのかな。
- たろうさん** 計算で求めることができるよ。だけど，正多面体のときに使った式は使えないよ。この立体は正多面体ではないからね。

問4 会話文にあるように，正二十面体の頂点をすべて切り取ったときにできる立体の辺の本数を求めなさい。また，その求め方を，式やことば，表などを用いて説明しなさい。